

公益財団法人 高梨学術奨励基金
2019 年度 若手研究助成 募集要項

1. 助成事業の目的

当公益財団法人(以下、当財団)は昭和48年に設立され、歴史学及びこれに関連する学術研究の奨励援助を行い、もって我が国の学術の振興、文化の向上に寄与することを目的としています。

目的を達成するため、特に優れた成果をもたらすと期待される調査研究及び刊行に対し、下記3通りの費用助成を実施しています。

- ①若手研究助成 ②特定研究助成 ③刊行助成

本紙は「**若手研究助成**」の募集要項です。

2. 助成の対象

- (1) 歴史学(考古学、文献史学<絵巻等の視覚史料を含む>、及び美術史)とそれに関連する分野の調査研究
文献史学は、日本を中心とした調査研究を主な対象とします。又、美術史にあつては、日本を含む東洋の陶磁、工芸、絵画、彫刻、書跡などの調査研究を主な対象としますが、日本の伝統工芸史分野の調査研究も対象として考慮します。

- (2) 文明興亡史の調査研究

現代の科学・技術は要素還元論※1に基づいて発展してきましたが、このため全体を統括する思想や理念がなくそれぞれの分野が放置された状況になっています。このような状況に警告を鳴らし、現代社会の将来展望を考察する文明興亡史の調査研究を対象とします。

※1 要素還元論:ある出来事や物を深く考えてみて、なぜそういう出来事が起こったのか、なぜこの物が存在しているのかを明らかにするには、その出来事や物を構成しているさまざまな要素を探り当てて、その最小単位である要素をもう一回つなぎ合わせたり、組み合わせたりすれば分かるという考え方(デカルトが提唱)。

3. 助成期間

同一の調査研究の助成期間は2019年4月1日～2020年3月31日の1年とします。

但し、その後当該調査研究について新たな申請を行うことにより再度1年助成の対象となる場合があります。
(通算2年間の助成が限度)

4. 応募資格

2019年4月1日現在満39歳以下の日本の国籍を有する者。

但し、過去に助成を受けている者は 下記7の義務を果たしていることを応募資格に加えます。

5. 助成金

- ① 1件あたり100万円を上限とします。助成総額は、2300万円程度を予定しています。
② 助成金の用途は、申請した調査研究に必要な資金とします。
③ 適用期間は、2019年4月1日～2020年3月31日とします。

6. 結果の発表

助成対象者は、選考委員会の審査を経て、理事会にて決定した後、2019年5月上旬に応募者宛、個々に採否をメール又は、郵便にて通知します。

助成金の交付は5月中旬～下旬となる予定です。

※審査の過程及び結果についての質問には一切応じられません。

7. 助成対象者の義務

- ① 助成採用に際し、当財団に指名された場合は財団にて開催する調査研究の内容説明会に出席すること。
- ② 調査研究成果を発表する場合、当財団より助成を受けたことを明記及び明言すること。
- ③ 助成採用の翌年4月6までに、助成された調査研究の「成果報告書」及び助成金使途の領収証又はレシートを添えた「会計報告書」を提出すること。詳細については上記6.の結果の発表と共にご案内いたします。なお、「成果報告書」の扱いについては、下記10.年報を参照してください。

8. 募集期間

2018年12月1日～2019年2月5日

9. 応募方法

次の通り電子メールによる応募(申請)を基本としています。

なお、当方法によることができない場合は下記12の事務局までお問い合わせ下さい。

- ① 所定の「若手研究助成申請書一式」を下記12の「公益法人情報公開共同サイト」から取得して下さい。
この「若手研究助成申請書一式」には付随する「調査研究の概要」及び「推薦書※1(推薦がある場合のみ提出)」を含みます。
※1共同研究者及び当財団の評議員・理事・監事・選考委員は推薦人になれません。
- ② パソコンにより①の申請書一式に必要な事項を入力後(押印不要)、Wordのままメール(申請書記載のメールアドレスから)にて下記12のメールアドレス宛に添付送信願います。

(2019年2月5日(火)必着)

- ③ ②の送信について、事務局にて受信確認の返信をいたします(応募受付完了)。

返信がない場合は下記12の事務局宛にメールにてお問い合わせ願います。

- (注)イ. 過年度に助成を受けた方の申請は、上記7. ③の通り4月6日までに「成果報告書」及び「会計報告書」を当財団事務局に提出されることを審査の条件とします。

ロ. 同一の調査研究を、「若手研究助成」及び「特定研究助成」両方に併願出来ません。

ハ. 申請に係る書類等は返却いたしません。

10. 年報

当財団は年度ごとに「年報」を作成しています。研究者から提出された全員の「成果報告書」をそのまま、及び当財団から助成を受けた「刊行物の概要」を掲載し、国会図書館、国公立大学、私立大学、博物館、美術館、研究機関、及び当財団の評議員、理事、監事、選考委員、相談役等の約220の関係機関及び関係者に配布しています。

11. 個人情報の取り扱い

- (1) 当財団がこの助成申請に関して取得する個人情報は、選考作業や選考結果の通知など本申請に関する業務及び当財団の事業や助成に関する情報の提供に必要な範囲に限定して取り扱います。
- (2) 当財団は、上記6.助成対象者が決定した場合、助成対象者に関する(1)の個人情報及び上記成果報告書、研究内容説明会の写真を当財団の年報等に掲載するなど一般公開いたします。
- (3) 個人情報に関する窓口: 下記12の事務局

12. 申請・問合せ先(基本E-mailにて、問合せ願います。)

〒108-0023 東京都港区芝浦2-14-4 オアーゼネクス芝浦 2F
公益財団法人 高梨学術奨励基金 事務局

E-mail: p.f.takanashi@marujin.co.jp

TEL: 03(5444)8432 FAX: 03(6453)7131

URL: <http://www.disclo-koeki.org/06a/00848/index.html> (公益法人情報公開共同サイト)